

定有堂教室「ドゥルーズを読む会（哲学を楽しむ会）」

1 これまでの日程とテキスト

- ①第1回 2022年10月27日（木） 岩田のレジメによる全般説明
- ②第2回 2022年12月15日（木） 『千のプラトール（上）』所収「リズム」
- ③第3回 2023年2月9日（木）
『意味の論理学（下）』所収「ミッシェル・トゥルニエと他者なき世界」
- ④第4回 2023年4月13日（木） 『記号と事件』

2 今後の日程、基本コンセプト、当面のテーマ（案）

- ①日程 原則として隔月第1または第2木曜日 19:00～
- ②基本コンセプト

「定有堂教室」ご案内より
この会は哲学を楽しむ会です。ドゥルーズを取り上げたのは「哲学史」から出発しているのに「話題」が豊富だからです。それと「逸脱」という主テーマが今日的な課題と思えるからです。気軽にご参加ください。



「逸脱」を「楽しむ」
＝ドゥルーズと皆さんの関心のあるテーマを往還する

③参考文献

- 基本テキスト ドゥルーズ『アンチ・オイディプス』『千のプラトール』
※斜め読みで結構です。
- 解説書など 宇野邦一『ドゥルーズ 流動の哲学』（講談社学術文庫、2020年）
千葉雅也『現代思想入門』（講談社現代新書）
もしよかったら拙著『橋田邦彦・現象学・アーレントの再解釈』

④当面のテーマ（案） 他者論

- 第5回 6月 当事者研究とドゥルーズ
cf. 綾屋紗月・熊谷普一郎『つながりの作法』（NHK出版、2010年）
- 第6回 8月 現象学とドゥルーズ（フッサール、メルロ＝ポンティ、廣松渉ら）
- 第7回 10月 公共性とドゥルーズ（アーレント、ハバーマスら）
- 第8回（12月）以降 皆さんの関心に基づいて

3 その他

「読む会」は「勉強会」ではありません。哲学の精緻な読解は専門家に任せましょう。私たちは、日々、さまざまな疑問を抱きながら生きています。しかし、子どものように「なぜ、なぜ」と周囲の人に面と向かって尋ねることはなかなかできません。哲学は素朴な疑問の集積です。絶対的な正解のない問いかけに対して、「この人（例えばドゥルーズ）は面白いことを考えているな」「今まで考えたことのなかった問いだな」といった小さな驚きを楽しむ会にしたいと思います。